国際文化学科 AP

国際文化学科は、「地域文化」と「芸術文化」を全て包括するものとしての「国際文化」を学ぶ学科である。世界の様々な地域や研究領域に存在する問題を自らつかみとり、それを国際的視野や学術的知見に基づいて理解・把握し、他者と協力しながら解決を模索することを通して、新たな文化や社会の構築に主体的にかかわることができる人物を育成することを目指している。

本学科が求める学生像は、以下のとおりである。

【求める学生像】

・国内外に存在し、複雑に絡み合う諸文化を、多様な言語を修得したうえで、複眼的・論理的・国際的な観点から理解することによって、既成の単一的な文化領域を超え「越境」する視座を身に付けたい人。［知識・技能］

・実践的な取り組みの成果を言語化し、ICT も用いて発信するために必要な論理的思考力やスキル、コミュニケーション能力を身に付けたい人。［思考力・判断力・表現力等］

・教室外での実践・体験プログラムを通して得た実践的な知と専門的な知識とを結びつけ、社会のフィールドにおける文化的課題に、他者と協力しながら取り組みたい人。［主体的に学習に取り組む態度］

【高等学校段階までに修得すべき学力】

・外国語と国語の適切な運用能力

・地理歴史や数学の十分な基礎学力

・論理的に物事を考える基礎的な思考力と、自分の考えをまとめ他者に正しく伝える基礎的な表現力

・他者とコミュニケーションを取り、協働して物事に取り組む力

上記の学力を身につけているかを判定する入学者選抜試験を以下の基本方針で行う。

(1) 一般選抜

一般選抜では、各入試区分で課している科目における基礎的な知識を身につけているかを、思考力および表現力も加味しながら判定する。

・一般選抜（個別選抜型）

筆記試験により、国語、外国語（英語）に加え地理歴史・数学における基礎的な知識を身につけているかを、思考力および表現力を加味しながら判定する。

・一般選抜（英語外部試験利用型）

英語外部試験を利用して英語の４技能をバランスよく十分に修得しているかを判定する。さらに、筆記試験により、国語に加え地理歴史・数学の基礎的な知識を身につけているかを、思考力および表現力を加味しながら判定する。

・一般選抜（大学入学共通テスト利用型（前期３、４科目型））
大学入学共通テストの国語、外国語に加え地理歴史・公民・数学・理科・情報のうち１科目の計 3 科目の試験によって、それぞれの科目における基礎的な知識、思考力および表現力を身につけているかを判定する。

・一般選抜（大学入学共通テスト利用型（前期５科目型））
大学入学共通テストの国語、外国語に加え地理歴史・公民、数学、理科・情報の計５科目の試験によって、それぞれの科目における基礎的な知識、思考力および表現力を身につけているかを判定する。

・一般選抜（大学入学共通テスト利用型（後期））
大学入学共通テスト利用型（前期３、４科目型）と同じ方針で判定する。

(2) 総合型選抜
総合型選抜の第一次選考では、調査書を用いて高等学校等における取り組み状況を調査し、高校までに身につけるべき基礎的な知識と技能、主体性および協働性を総合的に判定する。また、全学科共通課題を通して主体性、論理的思考力および表現力を判定する。第二次選考では、小論文にて国際文化の諸問題に関する論理的な思考力、判断力、表現力を見る。さらに、プレゼンテーション・質疑応答ではコミュニケーション力や他者と議論する力などを審査する。以上の調査と試験を通して総合的に判定する。

(3) 学校推薦型選抜
高等学校等学校長によって推薦された人は、高校までに身につけるべき基礎的な学力を有していると判断する。さらに、出願書類と面接試験（口述試験）によって、学修や研究への意欲、自分の考えを表現する力、コミュニケーション力および協働性を総合的に判定する。

・学校推薦型選抜（附属高等学校推薦）
日本女子大学附属高等学校長が推薦する人を対象に、出願書類と面接試験によって総合的に判定する。

・学校推薦型選抜（指定校制／連携校）

本学科が指定する高等学校（指定校／連携校）の学校長が推薦する人を対象に、出願書類と面接試験（口述試験）によって総合的に判定する。

(4) 外国人留学生

日本留学試験の日本語、総合科目の 2 科目の試験によって、十分な基礎学力を有しているかを判定する。出願書類および口述試験によって、学修意欲、主体性、日本語能力、コミュニケーション能力、他者と議論する力、および国際文化に関する基礎的な知識を有しているかを審査し総合的に判定する。

(5) 編入学・学士入学

大学・短期大学・高等専門学校を卒業した人（見込みを含む）や他大学在学中の人を対象に、小論文試験を行い、論理的な思考力と表現力、大学 2 年次もしくは 3 年次に相当する専門的な知識を有しているかを審査する。出願書類および口述試験によって、学修意欲、主体性、コミュニケーション能力、他者と議論する力、および国際文化に関する十分な知識を有しているかを審査し総合的に判定する。

(6) 社会人

出願資格を満たす人を対象に、小論文試験によって論理的な思考力と表現力を判定し、出願書類および口述試験によって、学修意欲、主体性、コミュニケーション能力、他者と議論する力、および国際文化に関する基礎的な知識を有しているかを審査し、総合的に判定する。